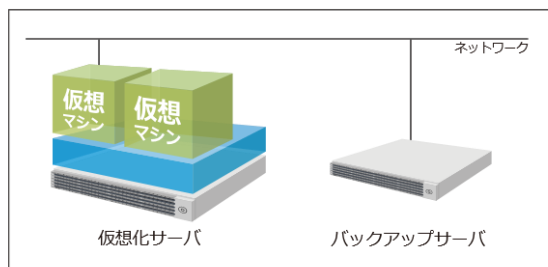


サーバ置き換えで仮想化を検討されている皆様へ

仮想マシンのバックアップと復旧を簡単に

Arcserve Backup

VMware/Hyper-Vと連携した
仮想マシンの自動バックアップと
より少ないステップの惨事復旧



仮想マシンの惨事復旧が より簡単な作業に

物理マシンの惨事復旧は、仮OSのインストールや、DVDなどの起動メディアによって仮OSを起動した上でリストアを実行する、煩雑な手順が必要でした。

仮想マシンは、Arcserve Backup の GUI 上で、復旧したい仮想マシンを選択しリストアを開始する、より少ないステップで、惨事復旧できます。

物理マシンの惨事復旧

起動メディアによるブート

リストア実行

仮想マシンの惨事復旧

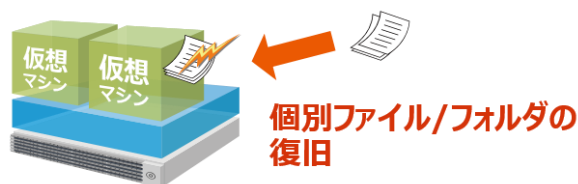
リストア実行

↑
リストア手順の短縮

個別のファイル/フォルダを 復旧できます

仮想マシン丸ごとの惨事復旧だけでなく、個別ファイル/フォルダを復旧できます。

Arcserve Backup の GUI 上で、復旧したいファイル/フォルダを選択し、リストアを開始できます。



- ※ 仮想マシン上へ直接リストアしたい場合は、仮想マシン上にエージェントの導入が必要です
- ※ 本機能が可能なOSプラットフォーム等の動作要件は別途お問合せください

バックアップは仮想化ソフトと 自動的に連携します

バックアップする仮想マシンの整合性を保つために、スナップショットを取得します。

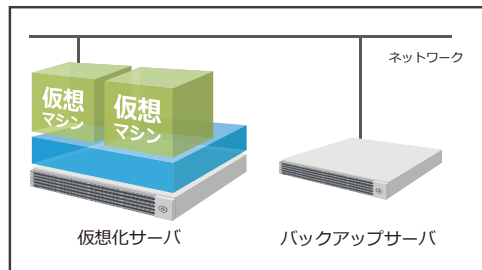
バックアップ実行時、VMware / Hyper-V 側の操作は不要です。Arcserve Backup のバックアップ実行と VMware / Hyper-V が連動し、仮想マシンのスナップショットを取得し、バックアップを実施します。

仮想マシンをエージェントレスで バックアップできます

仮想マシン上でエージェントを動作させることなく、仮想マシン全体をバックアップ・リストア可能です。

仮想マシン上にバックアップソフトを導入したくない場合に対応できます。

Arcserve Backup ライセンス構成例



VMware環境/Hyper-V環境の仮想マシンのバックアップ

仮想化サーバ1台とバックアップサーバ1台の構成で、VMware VADP連携/Hyper-V VSS連携による仮想マシンのバックアップ

型番	製品名	数量
UL1004-S11	Arcserve Backup 19.0 Media Kit	1
UL1004-S10-I	Arcserve Backup 19.0 for Windows	1
UL1007-S0L-I	Arcserve Backup 19.0 for Windows VM Agent per Host License	1



Arcserve Backup 保守サポート製品

	型番	製品名	数量
5年間保守サポート	ULH5S-1004038-I	PPSupportPack([Arcserve Backup 19.0]本体製品)(5年間)	1
	ULH5S-1007166-I	PPSupportPack([Arcserve Backup 19.0]VM Agent per Host License)(5年間)	1
4年間保守サポート	ULH4S-1004038-I	PPSupportPack([Arcserve Backup 19.0]本体製品)(4年間)	1
	ULH4S-1007166-I	PPSupportPack([Arcserve Backup 19.0]VM Agent per Host License)(4年間)	1
3年間保守サポート	ULH3S-1004038-I	PPSupportPack([Arcserve Backup 19.0]本体製品)(3年間)	1
	ULH3S-1007166-I	PPSupportPack([Arcserve Backup 19.0]VM Agent per Host License)(3年間)	1
1年間保守サポート	ULH1S-1004038-I	PPSupportPack([Arcserve Backup 19.0]本体製品)	1
	ULH1S-1007166-I	PPSupportPack([Arcserve Backup 19.0]VM Agent per Host License)	1

※上記はPP・サポートサービスの標準サポート製品（1年間/3年間/4年間/5年間）です。価格等はお問合せください。

新しい物理ファイルサーバへの移行後は、Image Optionで高速にバックアップ

Arcserve Backup の通常のバックアップではボリュームをファイル単位でバックアップしますが、Image Backup 機能を使用すると、ボリュームの管理情報と使用されているブロックの「イメージ」を直接テープに記録します。これにより、バックアップ時に発生するファイルアクセスのためのオーバヘッドを削減でき、バックアップ時間はファイル数に依存せずバックアップ容量に対応するようになります。

ディスク上の未使用部分はバックアップ対象としていないため、不要なデータによりテープを無駄に使うこともありません。

バックアップされたデータは、ファイル単位またはイメージごとにリストアできます（バックアップ時の指定によります）。

※Arcserve Backup 本体毎に、以下のオプションを追加してください。

型番	製品名	数量
UL1007-S05-I	Arcserve Backup 19.0 for Windows Enterprise Module	1

■ 当社検証例 381 GB のデータ (50KB×800万ファイル) のバックアップ

通常のファイルバックアップ

3 時間 31 分 0 秒

ImageOption使用

1 時間 22 分 2 秒

※ 社内の特定環境で検証を行った結果であり、お客様環境へ導入した際の効果を保証するものではありません。ご購入前に評価版製品で検証を行い、効果をご確認いただくことをお奨め致します。すべての環境で、同様の効果が得られるということではありません。お客様環境によって結果は変化します。

お問い合わせは、下記へ

NEC

Arcserve Backup 製品サイト [お問い合わせ]

URL: <http://jpn.nec.com/backup/arcserve/>

- 本資料に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- この資料の内容は2022年5月現在のものです。
- 製品内容については予告無く変更する場合があります。
- お使いのシステムの環境、およびご利用方法によっては記載以外の制限が発生する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 本資料の内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
- 本紙の一部、または全部を複写、転載、複製、引用することは禁じられています。